

第2回沿線まちづくり勉強会 (東武伊勢崎線)

・地方公共団体アンケート結果の報告

連携方策に関するアンケート結果のまとめ

2014年3月26日(水)

地方公共団体アンケート調査概要

調査期間	2013年11月18日(月)～12月6日(金)
調査対象	足立区、草加市、越谷市、春日部市、宮代町、杉戸町、久喜市、加須市、羽生市、明和町、館林市
調査方法	メール送付による配布 / メール返信による回収
調査目的	鉄道沿線の魅力を活かした居住人口・交流人口の増加を図るために、沿線の地方公共団体及び鉄道事業者の連携による「ブランディング・PR」、「沿線サービスの充実」などの沿線全体での連携施策を検討
調査項目	<p>問1: 人口減少社会を迎える中、居住人口および交流人口の維持・増加のために<u>地方公共団体が取り組んでいる施策</u>の内容、課題等</p> <p>問2: 居住人口及び交流人口の維持・増加のために、<u>地方公共団体が他の団体(地方公共団体、民間事業者、NPO等)と連携</u>して取り組んでいる施策の内容、課題等</p> <p>問3: <u>沿線の「ブランディング・PR」にふさわしいと考えられるテーマ</u>、テーマの選定理由、ブランディング・PRの取組み方法</p> <p>問4: 「沿線サービスの充実」のために連携して取り組んだらよいと考える施策のうち<u>短期的(5年以内)に実施する施策の内容</u>、役割分担の考え方、実施上の課題等</p> <p>問5: 「沿線サービスの充実」のために連携して取り組んだらよいと考える施策のうち<u>中長期的(5年を超える期間)に実施する施策</u>の内容、役割分担の考え方、実施上の課題等</p>

問1～2：取組みの現況

可能性のある連携施策について

医療の連携：地域医療提供体制の充実（春日部市 ほか）

取組み	課題	連携による改善
地域医療提供体制の充実	子育て日本一を目指す中、少子化を解消するため、子どもを安心して生み育てられる環境整備が重要となっている。少子化を解消し、居住人口の維持・増加のために、地域において、 症状に応じた適切な医療 が受けられるよう、夜間救急診療や小児医療体制の強化など、 地域医療提供体制の充実 が重点テーマとなっている。	沿線を通じ、医療連携の充実が図られる。 ・二次救急医療体制： 第二次救急医療圏の東部南地区 （春日部市を含む6市1町）と東部北地区、さいたま市地区の医療連携 ・三次救急医療体制：さいたま市・越谷市との連携

地域資源の連携：グリーンツーリズムの都市部への展開（宮代町）

取組み	課題	連携による改善
居住人口の増加に向けて、 道仏地区土地区画整理事業 を進めている。交流人口の増加としては、「 グリーンツーリズムゾーン(町の顔)魅力UP事業 」として、農業体験施設「新しい村」や、隣接する平地林「山崎山」において 農業・環境分野での体験学習事業等 を実施している。	「 東武動物公園駅 」は知っていても、それが宮代町とは直結しないためか、上記事業は好評であるものの、「 一部の知っている人 」に限られ、同駅から徒歩5-10分ほどで、豊かな自然に接することができ、かつ、これらの施設で自然体験学習ができることが知られていない。 そのため、 町の魅力アップにむけた事業展開とそのPR が課題となっています。	「新しい村」「山崎山」は沿線の中で都心からの距離や最寄り駅からの距離を考えても、これだけ身近に自然環境に接する空間はない。 そのため、「 農村 」的な空間を有している 宮代町と、都市化した近隣自治体との連携 により、沿線全体としての魅力向上が期待できるのではないかと。

問 1 ~ 2 : 取組みの現況

可能性のある連携施策について（続き）

イベント連携：イベント創出（春日部市）

取組み	課題	連携による改善
<p>交流人口増加のため、本市の既存の観光資源である「春日部夏まつり」「大凧あげ祭り」などのイベントの振興。また、継続的な来訪者を獲得するため、年間を通して楽しめる新たなイベントの創出や観光スポットの発掘。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣地域における同種イベントとの差別化 ・市外への効果的なPR活動 	<p>沿線で開催されるイベントの情報を相互で発信することによって沿線全体の集客力向上が期待できる。各イベントのセールスポイントの違いを沿線住民に印象付けることができる。</p>

観光資源の連携：東武鉄道とのタイアップ・東京スカイツリーを活かした取組み等（草加市）

取組み	課題	連携による改善
<p>「草加市観光基本計画」に基づく取組：観光が持つ「地域住民のふるさと意識の高揚」、「地域コミュニティの促進」、「市民活動の推進」、「地域文化の継承」、「地域産業の活性化」、「企業意識の向上」などの効果によって、共生社会を構築し、にぎわいと活力のある自立したまち草加を実現することを目的とします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本来持っている地場産業などの観光資源が活かされていない。 ・現在観光の資源として求められている参加体験型の観光資源が乏しい。 ・観光の担い手なる産業や市民の意識が醸成されていない。 ・新たな観光資源を生み出す仕組みが確立されていない。 ・観光情報の発信機能が十分でない。 	<p>県、近隣市との連携による相乗効果を活用埼玉県や近隣市で実施される観光を推進するイベント等に積極的に参加するとともに、キャラクター同士のコラボレーションや共同キャンペーン、広域的な観光ルート等の検討を行っていきます。 東武鉄道とのタイアップにより集客力をUP多くの方が利用している東武鉄道とタイアップすることは、本市を広く広報するために効果的な手段です。また、東京スカイツリーに訪れた観光客を本市に呼び込むための取組を進めます。</p>

問1～2：取組みの現況

参考：既存の連携組織について

東武伊勢崎線の足立区～館林市エリアにおいて、広域エリアで複数の地方公共団体が連携して取り組んでいる事例のうち、アンケート調査で知見が得られた事例は5事例である。

施策名	日光歴史街道をテーマとした活性化
実施目的	日光街道や東武日光線沿線にある魅力的な資源を線として繋ぎ、地域間の連携によって持続的な沿線地域の活性化を図る
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化資源を生かし、それぞれの地域でまちなかの回遊性を高め、更には地域間の連携により回遊型観光の実現に向けて推進する ・各地の観光地の集客力を日光街道や公共交通(鉄道)機関を活用し、連鎖的に集客する仕組みを創る ・同一の方向性で地域の魅力を高め、地域全体でのブランド価値を高めることによって、それぞれの地域の吸引力を増進させる ・目的意識を共有し、一丸となって活性化に取り組むため、それぞれの地域の民間団体や公共を担う多様な主体を中心とした「活性化協議会(仮称)」の設立を目指し、自立して活動を行うことができる環境を整備する
実施期間	平成24年11月1日から
実施主体	幸手市・越谷市、日光市

施策名	大落古利根川 川のまるごと再生プロジェクト
実施目的	大落古利根川の豊かな自然や景観に親しめる空間を創出し、誰もがこの川に愛着を持ち、水と緑あふれるふるさとを実感できる街づくりを行うとともに、各市町の創出した街を川でつなげる
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道の整備 公園の整備 親水護岸の整備 散策ルートマップ等の作成 住民と協働した川の維持活動の実施
実施期間	平成24年度から平成27年度
実施主体	埼玉県、杉戸町、宮代町、春日部市、松伏町

問1～2：取組みの現況

参考：既存の連携組織について（続き）

施策名	東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会	施策名	東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会事業
実施目的	埼玉県東部地域及び千葉県北部地域の調和ある発展と鉄道利用者の利便性の向上を図るため、 東武伊勢崎線及び野田線の整備促進 を目的とする。	実施目的	東武伊勢崎線（ 東武動物公園駅～羽生駅 ）の 輸送力の増強等 を推進し、首都近郊線としてのイメージアップを図るとともに、沿線地域の調和ある発展と地域住民の利便向上に資することを目的とする。
実施内容	東武伊勢崎線・野田線の輸送力増強 駅施設の改善 埼玉県東部地域及び千葉県北部地域の鉄道利用需要促進に向けたまちづくり 東武伊勢崎線及び野田線の整備促進を図るための調査、研究 関係機関等に対する陳情、要望	実施内容	沿線の4自治体（羽生市、加須市、久喜市、宮代町）で組織する「東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会」より、沿線住民の利便向上と地域の発展のため、輸送力の増強及び改善に向け、東武鉄道株式会社へ陳情を行っている。
実施期間	特になし（永続的に実施）	実施期間	1989年（平成元年）発足、5月幹事会、11月陳情活動
実施主体	宮代町、杉戸町、春日部市、越谷市、さいたま市、千葉県野田市	実施主体	沿線の4自治体（羽生市、加須市、久喜市、宮代町）で組織する「東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会」
施策名	両毛広域都市圏総合整備推進協議会		
実施目的	地域の より深い交流 と、 一体となったまちづくり を推進するため。		
実施内容	公共施設相互利用の促進、観光情報パンフレットの作成、両毛交流ウォーキングの実施、トレジャーハントの実施など		
実施期間	平成4年設立		
実施主体	群馬県、栃木県、桐生市、太田市、館林市、みどり市、足利市、佐野市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町		

問3：ブランディング・PRのテーマ

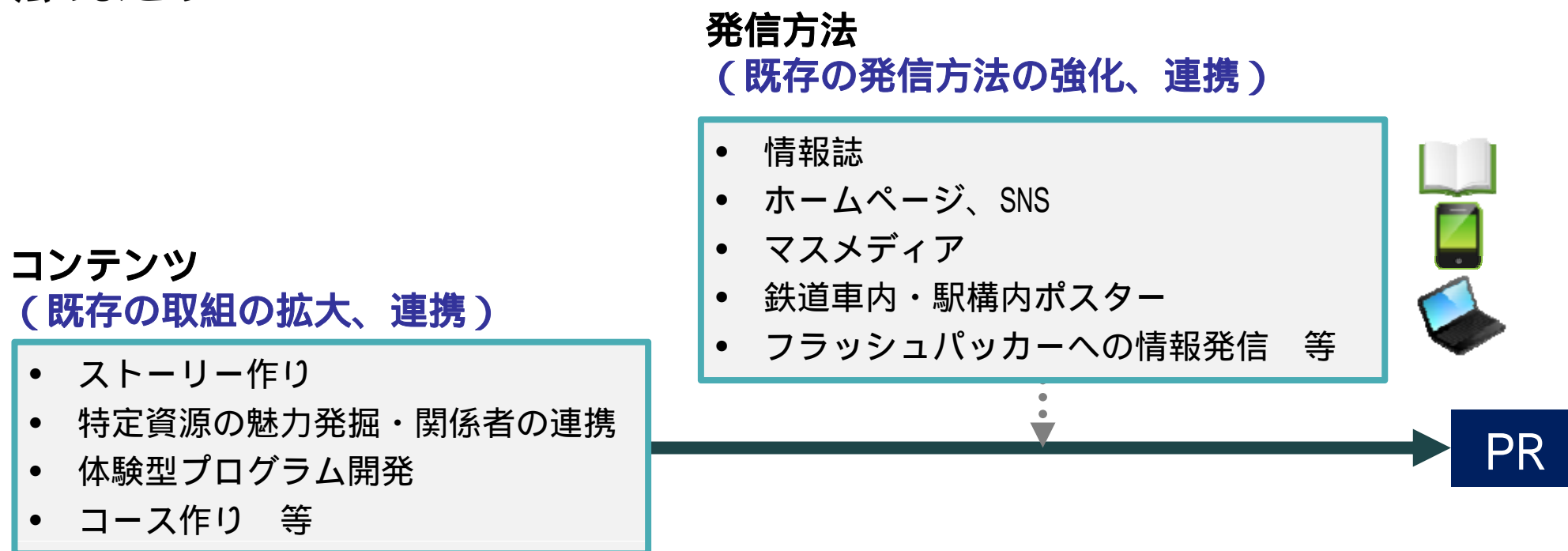
沿線の「ブランディング・PR」にふさわしいと考えられるテーマ

地方公共団体	回答
足立区	「竹ノ塚駅周辺地区」 鉄道高架化 によるにぎわいの創出と緑豊かな安心して住めるまち
草加市	歴史的景観
春日部市	農産物・加工品のブランド化 と技術向上への支援
宮代町	日光街道 を切り口とした沿線のイメージ強化
杉戸町	歴史と水と緑 を感じるまち
久喜市	ぶらっと鉄道でめぐる まち探索
加須市	加須うどん のPR、 世界一のジャンボこいのぼり をPR ラムサール湿地登録された 渡良瀬遊水地 の利活用
羽生市	古くて新しいかおりのする町 「 ご当地推奨品 」及び「 各種イベント 」の情報発信
明和町	ふるさとの誇り

注) 無回答の市町は含まない。

問3：ブランディング・PRのテーマ

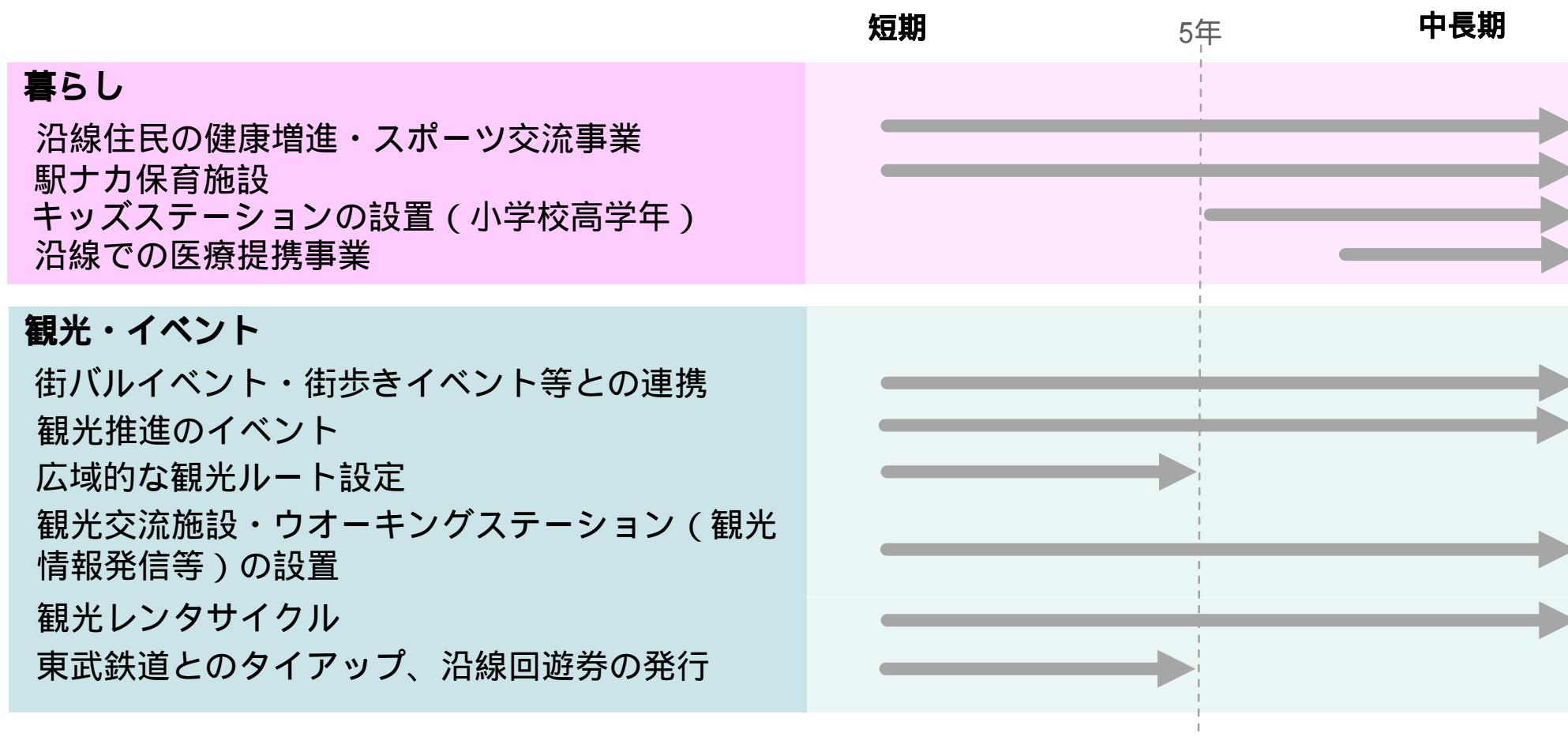
問3より得られたブランディング、PRのコンテンツ作り、発信方法のまとめ



既存の連携組織等を活かしつつ、鉄道事業者と連携した情報発信を行う

問4～5：「沿線サービスの充実」のための連携施策（短期・中長期施策）

- アンケート調査結果より、複数の地方公共団体が連携して取り組める施策を抽出
- 矢印は地方公共団体の回答をもとに、短期は5年以内、中長期は5年以上として分類している。類似回答で短期・中長期の評価が分かれた場合や短期施策であるが継続的实施が必要な施策は短期～中長期にわたる設定としている。



問4 「沿線サービスの充実」のために連携して取り組んだらよいと考える施策のうち短期的（5年以内）に実施する施策の内容、役割分担の考え方、実施上の課題等

地方公共団体	回答
足立区	沿線住民の 健康増進・スポーツ交流事業
草加市	県・近隣市と連携して、観光推進のイベント、キャラクター同士の コラボレーション や 共同キャンペーン 、 広域的な観光ルート 等の検討を行う。
宮代町	スカイツリーライン「 駅中保育 」サービス
杉戸町	沿線街歩き(サイクリング)イベント の開催:沿線各市町合同で街歩き(サイクリング)イベントを開催。街歩きイベントに合わせ、 街バル や 特産物直売等の追加イベント も実施
久喜市	沿線を途中下車できるように 回遊券 を発売する。
加須市	観光レンタサイクル の充実:サイクリングステーションの設置、乗り捨て自由型レンタサイクル、案内図・標識の設置
羽生市	ウォーキングステーション の設置:ウォーキングまたはジョギングができるような施設を駅に設置。ロッカー及びシャワールーム(ロッカールーム)の設置。荷物を隣駅まで運ぶサービスの検討。案内図・標識の設置
明和町	駅周辺に(仮称) 観光交流センター を設置し、沿線に存する各自治体等の交流センターのネットワーク化を図る。

注)無回答の市町は含まない。

問5 「沿線サービスの充実」のために連携して取り組んだらよいと考える施策のうち中長期的（5年を超える期間）に実施する施策の内容、役割分担の考え方、実施上の課題等

地方公共団体	回答
足立区	沿線での 医療提携事業 <ul style="list-style-type: none"> 沿線エリアの病院情報や得意分野のある病院の情報発信 一次診察は地元で、二次診察は沿線で行うイメージ 入院病棟のシェア 駅から病院までの移動手段に利用するためのカ シェア事業、コミュニティバスの運行 等
草加市	東武鉄道とのタイアップ : 東京スカイツリー に訪れた観光客を呼び込むための取組み
宮代町	鉄道の 連続立体交差 の延伸と都市間連絡道路の整備
杉戸町	歩いて暮らせるまちづくり (徒歩と鉄道利用により、生活のほぼ全てが完結できるまちづくり)
久喜市	輸送力 の増強: 電車運行本数の増強
加須市	観光ステーション の設置: 駅ビル内又は周辺に観光情報、特産品などを取り扱う観光ステーションを設置し、沿線で連携した観光イベント、観光スポット巡りなどの情報を発信する拠点として展開する。
羽生市	キッズステーション の設置: 小学4年生以上の児童(学童保育では預からない学年)を預かり、宿題、読書等の学習やレクリエーションなどの活動を行う。またはその機能(習字教室やピアノ教室など)を駅に集約させる。
明和町	来年度、第6次総合計画策定予定であるため、現在検討中である。

注) 無回答の市町は含まない。